



☆後期のスタート

短い秋休みを終え、10月15日(水)から後期がスタートしました。16日は、きよら祭りのため、午前中授業でした。きよら祭りでは、「中原楽」や「きよらっ子の歌」の披露に意欲的に取り組む児童の姿が見られました。

後期の始業式で、「まだ知らない自分」を見つけてほしい、そのためには、いろんなことにチャレンジしてほしいと話しました。子どもたちは、いろんな力を持っていると思います。今はできないかも知れませんが、いろんなことができるようになる可能性が大きいにあります。その可能性が、『まだ知らない自分』です。『まだ知らない自分』を見つけるためには、何事にもチャレンジすることが大事です。チャレンジすれば、自分から考え、行動します。また、そこから、しっかりととした知識、技能も身につきます。そして、自分にはこういうことができるんだ、こういう力があるんだと、自分が今まで知らなかつた自分の力を見つけることができると思います。さらには、変化のはげしい今の時代に対応できる力も身につくと思います。後期、いろんなことにチャレンジし、『まだ知らない自分』を見つけ出す、子どもたちを支援していきたいと思っています。

◎実りの秋です

暑い日々が続いていましたが、あっという間に秋の深まりを感じるようになりました。10月28日には、中原校区で、初霜の便りも聞かれました。学校近くの田んぼでは稲刈りを、また、畑ではサツマイモの収穫を行いました。刈った稲は、後援会長さんに脱穀等をしてもらい、お米を学校に届けていただきました。また、サツマイモもいろんな形のものがとれ、子どもたちは喜んでいました。栽培の体験は、生産される方の営みを知り、感謝の気持ちにつながるなど、食を考える大切な体験の1つです。



◎鍛錬遠足（地域学習）より

10月24日(金)に心身の鍛練と地域学習を兼ね、りんどうヶ丘小学校区で遠足を行いました。

遠足に参加した児童の感想を紹介します。「私は、鍛錬遠足を初めて体験しました。最初はぜんぜん余裕だと思ったけれど、後からきついという気持ちになりました。だけど、がんばって歩きました。」「今日、鍛錬遠足に行きました。体と心をきたえるのが目標で、体と心がきたえられたと思いました。」「地域学習をして、心に残ったことは、満願寺で歴史を学んだことや黒川温泉は南小国町のいい所だなど改めて思ったことです」



※保護者の皆さん、11月15日(土)には「ぎんなん祭」を開催いたします。何かとお忙しい時期とは思いますが、子どもたちの授業とは違う姿を見ていただければ、幸いです。